



後志トンネルの工事の様子

# あしを つくる

Vol.10



鉄道・運輸機構は、北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の建設主体として、北海道新幹線の整備事業を進めています。



青函トンネル内最高速度210km/hでの試験運転(写真はイメージです)



念願の北海道新幹線が開業!(提供:木古内町)

## 新

青森・新函館北斗を結ぶ北海道新幹線が、今年開業六周年を迎えます。約一四九キロメートルに及ぶ新青森・新函館北斗間は、二〇〇五年に工事実施計画が認可され、二〇一六年三月二十六日に北海道の皆様の期待を背負って開業しました。

以来、飛行機が欠航する悪天候でも北海道新幹線はほぼ止まることなく運行しています。道南地域と津軽地方をつなぐ交通インフラとして欠かせない存在となったことは、この六年間によって証明済みです。速度についても見直しを図っています。貨物列車と線路を共用する青函トンネル内は両列車がすれ違うことを想定

し、開業当初は最高速度を時速一四〇キロに設定。二〇一八年九月には時速二〇〇キロまでの速度向上試験を実施し、走行の安全性を確認しました。翌年には時速二〇〇〜二六〇キロでの試験も実施。JRTTではJR北海道と協力し、レールや電車線などが高速走行でも問題がないかを確認する様々な試験も実施し、安全な高速運転の実現を図っています。二〇二〇年十二月からは、年末年始・GW・お盆に時速二二〇キロでの営業運転が行われています。

一方、二〇三〇年度末に開業を予定している新函館北斗・札幌間の約二二キロメートルについては、現在、延長工事が進

私達は北海道新幹線建設局で働いています



写真  
出向元:鉄道会社(JR東日本・小田急・東京メトロ・京急)、航空会社(日本航空)、国土交通省(本省・北海道開発局・関東運輸局)、地方公共団体(札幌市)(他に京成・京王・オリエンタルコンサルタンツグローバル、北海道)

んでいます。トンネル区間が総延長の約八〇パーセントを占める中、十七あるトンネルのうち三つのトンネルが貫通し、いままさにトンネル工事が最盛期を迎えているところ。難工事ではあるものの、これまで培ってきた技術力を結集し、課題解決に努めています。

なお、北海道新幹線建設局では鉄道会社、航空会社、国土交通省、地方公共団体から多くの出向者を迎え、JRTTの「明日を担う交通ネットワークづくり」に貢献します」という基本理念のもと、その具現化と社会的信頼の構築に向け、着実に歩みを進めています。